

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		第 1 回 川西市地域公共交通会議	
事務局 (担当課)		土木部交通政策課	
開 催 日 時		令和 3 年 3 月 23 日 (火) 13 : 00 ~ 15 : 56	
開 催 場 所		川西市役所 7 階 大会議室	
出 席 者	委 員	日野 泰雄、松村 暢彦 (web 参加)、篷郷 裕之 (代理出席)、東山 仁、野津 俊明、水田 節男、田橋 一、藤田 幸治 (代理出席)、黒阪 貢一、杉本 勝広、佐藤 健二、高田 憲二、船木 靖夫 (代理出席)、酒本 恭聖	
	そ の 他 (オブザーバー)	松田 和馬 (代理出席、web 参加) 南野 繁夫、岡本 匠	
	事 務 局	【土木部】 五島副部長、小西交通政策課長、本城交通政策課長補佐、麻生主査、重村主任 【市民環境部】 阪上副部長、飯田産業振興課長 (産業ビジョン推進担当課長)、大島産業振興課長補佐、中野主任	
傍聴の可否		可	傍 聴 者 数 14 名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開会 2. 委員委嘱・委員紹介 3. 議事 (1) 会長、副会長の選任について (2) 川西市公共交通基本計画の取組状況について (3) 近年の課題とその対応状況について (4) (仮称) 川西市地域公共交通計画策定について (5) その他 4. 閉会	
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり	

審議経過

発言者	発言内容等
	<p><u>1. 開会</u></p>
事務局	<p>「第1回川西市地域公共交通会議」を開催する。 開催にあたり、副市長の松木よりご挨拶申し上げます。</p>
副市長	<p>本日は越田市長が公務と重なり、代理でご挨拶をさせていただきます。この度の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、非常に厳しい社会情勢となっている。交通事業者の方々には厳しい事業環境の中で、非常にご苦勞されているのではと感じている。市でもこの状況を打開するために新型コロナウイルス感染予防対策やこれから始まろうとしているワクチン接種について色々と施策を講じている所ではあるが、なかなか事態の抜本的な打開には至らない所であり、苦慮している。一方、これは本市の課題であるが、昭和40年代から開発された大規模な団地では高齢化が進んでおり、移動手段の確保が公共交通の面においては喫緊の課題となっている。</p> <p>本日、開催する地域公共交通会議においては、地域の皆様が一同に会することは非常に嬉しく思う。まちづくりや地域活性化など、これから課題を解決するためにも良い議論をしていただけないかと期待している。本市では、現行の「川西市地域公共交通基本計画」の見直しの時期が来ている。今後は、基本理念などを引き継ぎながら、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく地域公共交通計画の改定に向けて進めていきたい。この会議における審議をよろしく願いたい。</p>
	<p><u>2. 委員委嘱、委員紹介</u></p>
事務局	<p>委嘱状は日野委員に代表してお渡しする。</p> <p style="text-align: center;">(副市長委嘱状読み上げ交付)</p> <p>松木副市長は次の公務のためここで退出させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">(副市長 退場)</p> <p>本会議は「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」第10条第3項の規定に基づきまして、公開で行う。また、本日は、Web会議システムを活用し、開催している。Web会議システムを用いた参加者には、「映像及び音声より本人であること」「映像及び音声の即時送受信が適正に行われていること」の2点について、確認がとれていることを報告する。</p> <p>本日の出席委員数は、委員総数17名に対し13名(1名途中出席のため最終14名)が出席しており、川西市地域公共交通会議規則第5条2項の規定により、本日の会議</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>は成立していることを報告する。</p> <p>委員紹介について、本来であれば、お一人ずつご挨拶をいただくところであるが、時間の都合上、お手元の「資料1の委員名簿」と机上に配布している「出席者名簿、配席図」でご確認いただきたい。</p> <p><u>・資料確認</u></p> <p><u>3. 議事</u></p> <p>(1) <u>会長、副会長の選任について</u></p>
事務局	<p>川西市地域公共交通会議規則第4条の規定に基づき、会長は委員の互選によって定める。また、副会長は委員のうちから会長が指名することとなる。</p> <p>まず会長の互選について、意見はあるか。</p>
委員	<p>事務局で提案があればお聞きしたい。</p>
事務局	<p>事務局案提示のご意見を頂戴した。事務局案として、川西市公共交通基本計画策定委員会の会長でいらっしゃった日野委員を会長にご提案する。委員の皆様いかがか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>異議が無いようなので、日野委員に会長をお願いしたいが、日野委員いかがか。</p> <p>(承諾)</p> <p>ご承諾いただけたので、会長を日野委員にお引き受けいただくこととする。</p> <p>続いて、副会長の選任であるが、日野会長から副会長を指名していただきたい。</p> <p>(会長より松村委員を指名)</p> <p>会長より松村委員の指名があったが、まだ参加されていないので、参加され次第、副会長を松村委員にお引き受けいただくこととする。</p> <p>それでは、代表して会長より一言ご挨拶を頂戴したい。</p>
会長	<p>先ほどから出ているように、お手元にあると思うが、本市においては平成27年に「川西市地域公共交通基本計画」が策定された。これは、今般の国の法改正に伴う公共交通計画の上位に位置するものだと思っている。そういう意味では、本市は先進的に取組みを進めておられると思うが、残念なことに基本計画に基づいて、実施計画を策定してその進捗状況をPDCAで回して検討するための会議については、今日ま</p>

発言者	発言内容等
会 長	<p>で開催されることはなかった。その間に、新型コロナウイルス感染拡大による影響や本市におけるいくつかの問題もあったかと思うが、今回、こういう形で地域公共交通会議が開催される事になったことについては大変嬉しく思う。</p> <p>この会議では、基本計画でも明記されているように、本市のまちづくりの実現に貢献しながら、市民の皆さんの移動を支援するために、行政と交通事業者と市民の皆さんが協働で出来るだけ幅広い視点から実施計画を策定した上で、本市のよりよい交通サービスが提供できるように、皆さんのご意見を踏まえながら検討していきたい。皆さんには、色々な立場もあり、問題も抱えているかと思うが、今回、新型コロナウイルス感染拡大の影響下でもこのような会が開催出来たことは意義があることである。是非、忌憚のないご意見をお願いしたい。</p>
事務局	<p>以後の議事進行は、日野会長にお願いする。</p>
会 長	<p>本当は、副会長にもご挨拶をお願いしたいが、まだいらっしゃっていないので、後ほど時間があればお願いしたい。</p>
会 長	<p>(2) <u>川西市公共交通基本計画の取組状況について</u></p> <p>本日、一部次第の修正があったが、川西市公共交通基本計画を策定後、会議が開催されなかったこともあるので、少し構成を変えて進めさせて頂く。会議の内容は4つを考えている。</p> <p>1つ目に、基本計画策定後の公共交通に関わる市の取組み状況についてご報告をいただきたい。ただ、この次第には「1）計画目標値の達成状況、2）戦略別取組の進捗状況」と記載されているが、地域公共交通会議の中で議論されたものではなく、基本計画の中に目標値として設定されたものなので、今回については、どういう事をしてきたかということの報告にとどめ、現状の認識として共有させていただきたい。</p> <p>2つ目は、この新型コロナウイルス感染拡大による影響に加えて、本市としてどういう問題があり、その問題を踏まえて公共交通に関してどのような課題があるのかを整理する。</p> <p>3つ目は、その課題に対してどういう対応をするべきか、あるいはその対応が可能かについて、各委員から意見をいただきたい。</p> <p>4つ目は、国の法改正（※持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律（令和2年11月施行））に伴って公共交通計画の作成が努力義務になった点である。事務局から基本計画の改定と説明があったが、基本計画には理念や方向性が明記されており、大きく変更する必要はないと考えている。現計画の改定時期という説明が事務局からあったが、基本計画に定められた目標年次に向けて本会議を開催して実施計画を策定し、その進捗管理がなされたうえで、社会状況の変化などを踏まえ時期</p>

発言者	発言内容等
会 長	<p>や目標を新たに定める必要がある場合に改定ということになると思う。あまり言うとか先入観を与えることになるが、これらを念頭において、基本理念に基づき、必要があれば川西市地域公共交通基本計画改定についての検討をお願いしたい。</p> <p>この流れで進めていきたいので、ご意見があればお願いしたい。</p> <p>それでは、まず1つ目である川西市公共交通基本計画策定後における本市の公共交通の状況について事務局から資料2の説明をしていただき、その後に各事業者から状況を説明していただきたい。</p>
事務局	<p>川西市公共交通基本計画はH27年3月に策定した公共交通の基本的な方針を定めたものである。この基本計画に定められている14の戦略別取組の進捗状況として市や事業者市民が取り組んだ内容を説明する。</p> <p>14の取組のうち、1、7、8、10、11、14の6項目を実施しているが、13については地域が主体となりコミュニティ単位で地域公共交通実施計画の策定を目指していたが、策定できた団体は無かった。今後、次期計画策定の中であり方を検討していきたい。現在市が検討しているのが、5、9、14である。詳細については後程説明する。</p>
会 長	<p>それでは、事業者からもご説明いただきたいが、いかがか。</p>
委 員	<p>阪急バスである。バスロケーションシステムを2016年から導入させていただいており、順調に稼働している。お客様からバスが遅延しているのか、それとも時間通り走っているのかわからないなどのご不満があったので、バスロケーションシステムの導入により、解消できたことは大いに役に立っている。</p> <p>また、大和地区では市立川西病院・大和団地線に係る意見交換会を開催させていただき、意見交換やご提案などさせて頂いている。</p> <p>さらに、小学生対象のモビリティマネジメント教育については、市立牧の台小学校と市立桜が丘小学校で学習イベントを開催させていただいた。計画策定以降に何回開催したかは、確認できていないのでわからないが、引き続き取り組んでいく。</p>
委 員	<p>能勢電鉄でもモビリティマネジメント教育をすすめている。</p> <p>資料2、2頁の10番に記載されているとおり、絹延橋駅上り線において駅舎スロープの設置が完了している。街路整備事業（都市計画道路豊川橋山手線）と合わせて、下り線の駅舎にも設置を進めていく予定である。残りの駅舎につきましてもスロープの設置を進めていきたい。</p> <p>後ほど、各駅の乗降人員推移について説明するが、キセラ川西が出来たことで、近年乗降客数が減少している中で、絹延橋駅については若干増加している。</p> <p>(3) <u>近年の課題とその対応状況について</u></p>

	発言内容等
会 長	<p>本来は先ほど申したとおり、基本計画に基づき実施計画を作成してPDCAでまわすと定められているが、それが出来ていなかったため、その間に行政や交通事業者で実施してきた内容を説明いただいた。</p> <p>何かご質問、確認などあればお願いしたい。</p> <p>バス事業に関しては、乗務員が不足している。労働条件が芳しくないことが指摘されている状況である。行政としても財政が大変厳しい状況であることに加えて新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、実際に地域公共交通会議の運営に係る予算が半減している自治体もある。その中で行政として、今後公共交通について考えるにあたり、どういう問題を抱えているのかご指摘いただきたい。</p>
事務局	<p>まず、大和地域のバスの問題。もともと市立川西病院へのアクセスを確保することを目的に、阪急バスに運行依頼をしてバスを走らせて頂いたこと、それに派生する形で、大和地域にお住まいの方々の移動手段を確保するために、大和地域の循環バス（市立川西病院・大和団地線）を走らせていただいた。近年、阪急バスの働き方改革による人件費の増加及び乗務員の確保の難しさ等、我々が出資させていただいている補助金で立ち行かない状況が続いている。このままでは、補助金があっても路線を維持するのが難しいという話があり、それに取り組もうとしている事がひとつあり、後程ご説明させていただく。</p> <p>冒頭、副市長の挨拶にもあったように、人口減少、高齢化が顕著に現れているニュータウンにおいて、介護を必要とされる高齢者、障がい者、一般の若い世代、歩けるがバスや駅まで行くのは非常に厳しい方々に対して、きめ細かい地域内公共交通を確保することが本市の課題である。現在、小型乗合交通という形で、市が検討している状況である。</p> <p>中心市街地における問題は、川西能勢口駅の活性化とキセラ川西がオープンし、それぞれの街について、それなりの発展をしており、活性化も図られてはいるが、川西能勢口駅とキセラ川西間の回遊性の確保が出来ていないという課題を持っており、そのあたりを今後進めていきたい。</p> <p>近年の課題としては、この3つである。</p>
会 長	<p>川西市は東西広域交通に対して南北の幹線交通があり、さらに幹線にアクセスするための交通がある。そのため、広域の移動と市内の移動、生活圏の移動をどう考えるかということになる。地域の特性によって色々な事例があるが、どのような手法が良いのかはその地域にどういう問題やニーズがあり、皆さんがどのくらい積極的に協力するかによって、導入すべき交通システム等の方法も変わってくる。それによって、今後の動向も変わってくるので、幅広く皆さんからご意見をいただきたい。今回は、事務局としては小型の車両を提案されているようだが、広くご意見をいただいた上で、それが妥当であれば詳細を議論いただきたい。</p> <p>言いにくい所もあろうかと思うが、交通事業者として、阪急バスの収支の問題も出たが、言っておきたいことがあればぜひご発言いただきたい。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>資料に沿って現状と課題について説明する。輸送人員は15年間で13%減少している。実車走行距離は下がっているが輸送人員程は下がっていない。7%減少に留めておりサービスはできる限り維持している。収支率は2005年に比較し2019年度は90%を下回っており、市内全路線が赤字路線である。</p> <p>バス事業の費用の6割が人件費であり、収支が厳しい路線や地域は人件費を抑えるため賃金を押さえた非正規社員の活用や子会社への運行委託に20年前から取り組んできた。しかし、バス事業者の労働時間が長く賃金が安いと運転手志望が減少しており、免許所有者も減少・高齢化が進んでいる。阪急バスでも運転手の大量定年を控えており運転手確保が喫緊の課題であるが、募集をかけても応募が少ない、また入社してもすぐに退社することもあり、一昨年より契約社員制度の廃止、子会社の吸収合併と正社員化に取り組んだ。この結果経費の増加に繋がり収支の圧迫につながっている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響だが、2月から影響が出始め、4月に半減している。6月以降持ち直していたが、年末からの第3波により利用客が減少しており、その結果、収入は25%減少している。交通事業者は利用客が減っても輸送力を確保しなければならず、コストは変わらず収入のみ減少しており厳しい状況である。特に高齢者の出控えがあり、はんきゅうグランドパス65の購入が減少している。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大がある程度収束しても、従前の100%需要に戻るのには無理かと考えている。今後どのように経費を抑えつつ利用してもらおうかが課題である。</p>
会長	<p>能勢電鉄からも現在抱えている状況を説明頂きたい。</p>
委員	<p>配布資料に関しては、毎年11月に乗降人員調査を行っている。資料は1日あたり各駅別乗降者数の推移を記載している。弊社の一日の乗降者数のピークが平成7年で、その数字を100として令和2年まで記載している。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響があるので、令和元年を見ていただきたい。令和元年は、平成7年と比べると約60%という状況である。絹延橋駅については、令和元年でみると平成7年と比べ約90%で、キセラ川西の営業もあり若干乗降客数が増加している。ただ、昨年より新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年の数字をみるとピーク時の半分程度となっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響としては、数字的には路線バスと同じような状況で、令和元年度の2~3月あたりから影響が出て、4~5月になると半減している状況である。宣言が解除されてから徐々に増えてはきたが、10月のGo Toトラベル時が一番ピークでその後減少した。現在はコロナ前の約8割程度の利用者となっている。路線バスと同様、今後テレワーク推進などもあり当社としても100%戻るのには厳しいと考える。なおかつ当社の場合、沿線の住宅団地の生産年齢人口の減少が影響しているところもあり、なかなか厳しい状況である。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>当社の課題としては、これまで地域公共交通ということで、ダイヤ改正をしながら若干の本数見直しなども行い、できるだけ利便性を確保しつつ維持してきた経緯がある。しかし、これだけ利用者が減少している状況では、今後本数の削減も検討していかななくてはならない。</p> <p>最後に路線バスほどではないが、乗務員の確保について問題がある。当社の場合は、経営が厳しい時期には新規採用を抑制していたこともある。現在は、新規採用もしているが、乗務員の確保についてなかなか難しい状況である。そのあたりも見据えながら、ダイヤ見直しの検討もしなければならない。</p>
会長	<p>阪急電鉄からも現在抱えている状況を説明頂きたい。</p>
委員	<p>基本計画策定後の乗降人員の推移を見ると、川西能勢口駅の乗降人員は能勢電鉄との乗り換えを除いた数値で、平成 26 年を 100 とすると令和元年は 104 である。</p> <p>次に、新型コロナウイルス感染症の影響は、一日あたりの全線の乗降人員を見ると、平成 28 年と比較した場合、令和 2 年は 26%減である。深夜時間帯 23 時以降については、47%減である。</p> <p>その他の課題としては、川西市に限った問題ではないが、社会情勢の変化（少子高齢化、働き方改革等）への対応が必要である。また、環境負荷低減について、鉄道は環境にやさしい交通機関ではあるが課題はある。さらに、技術開発については、社会情勢への対応、あるいは利便性の向上と安全性の確保等を考えなくてはならないと認識している。</p> <p>これらの課題に対する対応例として、直近の状況をお知らせする。3 月 13 日（土）に宝塚線の最終列車については 15 分の繰り上げをさせていただいている。深夜時間帯で利用者が減少しているためと、夜間工事の時間確保を目的としている。</p> <p>あと、親会社の阪急阪神ホールディングスが西宮市域における MaaS 実証実験（沿線居住者向けの都市型 MaaS（Mobility as a Service）の実証実験）を 4 月に実施予定である。</p> <p style="text-align: center;">（副会長 WEB により入室）</p>
会長	<p>松村委員、副会長に指名したいがいかがか。</p> <p style="text-align: center;">（承諾）</p> <p>それでは、副会長を松村委員にお引き受けいただくこととする。</p> <p>話を戻すが、皆さんから何か確認事項があればお願いしたい。意外だったのは、阪急電鉄の川西能勢口駅での乗降人員が 100%を超えている事である。川西能勢口駅にどういう手段でアクセスしているのか、分析はされているのか。</p>

発言者	発言内容等
委員	分析は出来ていない。JR 川西池田駅の利用状況も確認しないと分からない。
会長	<p>JR 川西池田駅の利用状況も確認しなければならないが、広域の移動について、もし新型コロナウイルス感染拡大がなければ、現状維持できているのだとすれば、期待の持てる所である。どんな手段で主要駅に集まっているのかを検討いただき、その方々の移動手段を公共交通にできればボトムアップに繋がる。</p> <p>全体としては、利用者が減少していて収入が減少する一方で、賃金や経費については、減らないので収支が悪化している。</p> <p>国からの補助について、本市で適用できる補助の事業があれば、ご紹介いただきたい。</p>
委員	また、改めて具体的に紹介させていただく。
会長	<p>了承した。出来れば、法定計画を作って申請をして、補助事業とすることも大事である。</p> <p>乗務員が足りないという問題や車両の更新の問題もある。送迎用の車両を運用できないか、国も検討されているかと思う。情報があれば共有したいのでお願いしたい。</p> <p>副会長からこれまでの所で何かご発言があれば、お願いしたい。</p>
副会長	<p>阪急電鉄では、意外にも川西能勢口駅の乗降者数が減っていないとのことで驚いた。松山市だと、公共交通利用者は軒並み半分となっている。そういう意味では、まだ移動で公共交通の果たす役割は大きいと感じた。とは言いながら、フィーダーを活用して、いかに幹線へ集めるかということについて知恵を絞らなくてはならない。それと同時に、現在の人口密度の規模からすると、路線バスが果たす役割も、川西市においてはまだまだ大きい。清和台から幹線が機能するためには、いかに幹線に集められるかが重要。同じように、能勢電鉄に集めるために、支線である路線バスの活用には、まだまだ余地があると考え。グリーンハイツ地域や大和地域にある支線のバスをどう考えていくのはこれからかと思う。</p> <p>皆さんご存知の通り、様々な交通手段がここ 5 年で出てきているが、デマンド交通にしても、愛媛県においてデマンド交通をいくつか支援をしている立場にいるが、利用者については、従前の交通モードと比較してほぼ減少している。あまり容易に飛びつくのは、いかがかと考える。</p>
会長	<p>まだまだ、熟考しなければならない点がある。ただ基本は移動を活性化しなければならない。移動については色々と手段の選択肢があるが、小型乗合交通の導入について、事務局から説明をお願いします。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>川西市公共交通基本計画を策定し、計画に小型乗合公共交通の導入検討が戦略別取組の方向性の一つとして示されたが、計画策定以後、ニュータウンにおける高齢化が進展していること、それに伴って移動に課題を抱えている住民のニーズが高いことが課題となっている。</p> <p>この課題を踏まえて、人口減少や高齢化が顕著なニュータウンにおいて、地区内での新たな移動手段を模索し、誰もが住みやすいまちを目指している。</p> <p>対象地は清和台、多田グリーンハイツ、大和地区の3地区から1地区を選定し、対象者は市の既存施策から対象外となる、移動に課題を抱えている住民である高齢者、障がい者、要介護者、子育て世代をメインターゲットとして、一般の方も乗車可能な地区内移動に限定した小型乗合公共交通の導入を検討している。</p> <p>これまでに、市で新たな交通手段の利用意向についてニーズ調査を実施しており、結果は各地区とも拮抗して大差がない状況である。交通事業者の意見としては、清和台ではバス路線への乗継による利用者の増加につながる可能性があるが、多田グリーンハイツでは今後バス路線の維持が困難になると予想されるため、財政面の支援を要望が出されている。一方、大和地区では、現在、地域によるバス再編を実施中である。なお、タクシー事業者については各地区で事業参画の意向を示されている。</p> <p>地域の意見としては、清和台では過去のタクシー試験運行で商業施設の協力が得られたこと、多田グリーンハイツでは阪急バスの運行継続のために地域が実施しているお出かけ支援に対して、市からのバックアップが欲しいこと、大和地区ではバスの再編に着手していることが挙げられる。</p> <p>市の方針としては、ニーズ調査では3地区とも結果が拮抗しており、3地区の実状を総合的に勘案して1地区を決定していきたいと考えている。</p> <p>地区選定後は、2ヶ月間の実証実験と効果検証の結果を踏まえ、他地区への展開と本格運行の検討を行っていく予定である。今後も、本会議で適宜進捗状況を報告させていただく。</p>
会 長	<p>本来は地域公共交通会議において決定した施策について、公共交通体系の中の一部として位置付けて実施するものではないのか。今の説明だと、市や地域の独自の施策について、その進捗状況を地域公共交通会議でその都度報告するという意味に聞こえた。市としては、この地域公共交通会議とは別途進めていくということの報告なのか。</p>
事務局	<p>この小型乗合交通については、市で政策的な判断をしていくべき性質のものだと考えている。ただ、全てを川西市だけで進めていくのではなく、地域公共交通会議の場で、事業者のご意見を頂いて、議論をして頂いた上で、地域を絞り込んで進めて参りたい。途中経過においては、逐一、地域公共交通会議で報告し、ご議論頂きたい。</p>

発言者	発言内容等
会 長	<p>本来だと、川西市公共交通基本計画の基本理念を実現していくために、実施計画を策定して、様々な課題への対応について地域公共交通会議で位置づけられれば、この会議の中で決定した事項として、各関係機関の皆さんが協力の義務を負って実施する流れになる。</p> <p>先ほどの説明だと、地域公共交通会議とは別途進められており、その報告を受けたということであれば、この会議との関係が分かりにくい。この会議で、アドバイスがあれば欲しいということであれば、具体的に中身を議論する必要はないと思う。ただし、実証実験の話があるので、これに関しては許認可の関係もある。そのため、基本的には地域公共交通会議の中での同意が必須となる。そうすると整合がとれない。もし、地域公共交通会議で同意を得た中でやりたいということであれば、委員に意見をいただき、地域公共交通会議での意見を反映させる猶予をいただかないと難しいと思う。このままのスケジュールで進めるのか。</p>
事務局	<p>今、市が考えているスケジュールと、この新型コロナウイルス感染拡大の影響により、本会議を開催できなかったというジレンマには陥っている。ただ、ボトムアップ式で、一からこの考え方を皆さんにご議論いただいて進めるという手順を本来は取るべきかもしれないが、現に本会議がここまで開催されてなかったという現実と市で政策的な判断をして、住民アンケート調査まで実施しているという事を率直に伝えている状況である。</p> <p>この後、更にアンケートの結果や市の考えを適宜ご報告させていただきながら、許認可の部分にも関わってくるので、適宜報告しながら進めていきたい。</p>
会 長	<p>どういう扱いにすべきかという所があるが、何かご意見はあるか。</p>
委 員	<p>交通事業者と事前に話はされているのか。</p>
事務局	<p>路線バス事業者にはニーズ調査や方向性等について、情報共有をしている。</p>
委 員	<p>路線バス事業者と競合させないといったことも考慮しなければならないと思うがどうか。</p>
委 員	<p>どういった形態でされるかによって、路線バス事業に大きな影響が出るかと思う。そのあたりは、しっかり情報共有と意見交換を行っていききたいと思う。そもそも、この案件は地域公共交通会議の同意決議がないとできないと思うがどうなのか。</p>
会 長	<p>先ほどの事務局の説明は、別途、市の施策として進めており、事業者との打合せも済んでいるので、ここで報告をして最終決定をして欲しいというような内容であった。しかし、今日は初めての地域公共交通会議なので、いきなりこれらの施策を実施するのでお願いしますというのでは、各委員の皆さんには判断できないと思う。それ</p>

発言者	発言内容等
会 長	<p>ともうひとつは、このスケジュールの中には良いイメージの内容しか記載されていないと思う。「他地区への展開」と記載されているが、もしも利用者が少なかったらどうするのか。本来だと、実証実験期間限定の評価指標を設定した上で、結果によって、継続して本格運行をするということを会議の中で決めておかないといけない。そうしないと、利用者が少なかった場合でも、この会議で同意したので、色々やって欲しいというのでは困る話である。</p> <p>これが先ほど申し上げた地区交通の中のどの部分を担うのかということも大事である。フィーダー交通手段に至るまでの話なのか、地区の中の生活圏の移動をサポートするのか、そのあたりも今の説明では曖昧でよくわからない。本当に皆さん利用するだろうかという懸念もある。アンケートで利用すると回答しても、実際に利用するのはその半分くらいしかないのが実情である。評価をどう考えておられるのかが見えないので、出して頂かないと考えるににくいと思うが、いかがか。</p> <p>今の説明は、市が独自で進めている施策について、進捗状況とスケジュールを報告したので、次回の地域公共交通会議では、実験対象の地区を選定して実証実験するので合意をお願いしたいとしか聞こえない。</p>
事務局	<p>次回、ここで決めて合意を得るまでということは当然考えていなくて、仕組みの状況は地域や交通事業者と話もさせていただきながら、随時決定した所は本会に報告させていただく。</p>
会 長	<p>ボトムアップというかトップダウンにしか聞こえないが、今の話だと、次回に3地区（清和台地区、多田グリーンハイツ地区、大和地区）のうち、1地区で実証実験をするという事もあるのだろうが、そもそも全体の計画の中で、この提案は、川西市公共交通基本計画の中の位置付けと、適用するために地理的な事やどういう移動を担うものなのかを再整理して、皆さんにわかりやすく説明していただきたい。</p> <p>実験地区をこの3地区の中から決定するなら、実験の前にその地区の方々がどんなニーズをお持ちなのかを知っておかなければならない。利用がなければ同じ失敗をする訳で、用事を作って乗るくらい意思を皆さんに持っていただかないとこれは実現しないと思う。それも含めて、これがどの程度利用されたらよしとするのか、評価基準を用意しないといけない。その上で、皆さんにご了解いただければ、進めて頂けたら良いと思う。いかがか。</p>
副会長	<p>会長がおっしゃる通りだと思う。公共交通会議なので、全体の交通の中で、これがどういう位置づけになっているかということについての説明があったほうが良いかと思う。それと申し上げにくいですが、本当にこの運行の担ってもらえる所があるのか。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>まず、取組みの位置付けは戦略的取組みの中で、小型乗合公共交通の導入を検討するという所で検討を始めている。地域については、3 地区を対象にニーズ調査という形で住民アンケートを実施して、まだ速報値ではあるが、地域の方の話を聞きながら必要の度合いや種類などを十分検証して実験に進みたい。地域がどのような移動について課題を持っているかという部分を検証しながら、移動について施策をうっていきたいと考える。</p> <p>この実験でどういった所の交通を担っていくかという部分については、地域の交通事業者については、路線バスとタクシーがあるので、そこで色々話をさせていただいて、協力していただける交通事業者とも話を進めていきたい。</p>
会長	<p>全体的にどういう方向で何をどう進めていくかを決めるのが実施計画であり、その中に入っていれば、この会議で決めることになるが、この話については地公会議として全くの寝耳に水の話である。</p> <p>この会議で、実施計はないが基本計画の 14 の取組みの方向性の一つとして位置付けることのできる承があれば、実施するのも良いかと思うが、もし利用者がなかった場合はどうするのか。検討しながら、課題を整理するとおっしゃっているが、逆ではないだろうか。まずは、地域のニーズや課題を整理した上でこの案が出てくるはずである。採算性などから目標値を設定しそれをクリアしてから、他地域に展開するのが筋である。そのための目標値である。やってみたが駄目だったでは、地域の方にも迷惑がかかる。</p> <p>次回、もう一度、川西市公共交通基本計画の内容も整理して説明をしていただき、皆さんから了承を得てから実施することを検討する方が良いと思う。スケジュール感もあるかと思うが、会議のメンバーに十分理解できるような状況の中で、実験実施の決定していただきたい。</p> <p>それでは、資料 5 について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>基本計画の戦略別取組 9 に係る取組として、大和地域が主体的に取り組んでいる事例を説明する。大和地域の状況としては昭和 42 年から入居が開始された大型の団地である。この地区では平成 13 年から大和地域内にバス運行が開始、平成 20 年からモビリティマネジメント教育が開始されるなど、積極的な活動をされている。直近ではバス運行に係る補助金増額の要望が市に出される中、持続可能なバス運行を目指して地域主体による協議検討に取り組まれている。</p>

発言者	発言内容等
オブザーバー	<p>簡単に説明をさせていただく。大和地域は高齢化が進んでおり、住み慣れた地域にいつまでも住み続けるために持続可能な公共交通を整理することは、医療と並んで、生命線であり生活の基盤である。地域としては、公共交通をまちづくりの視点からとらえ、路線バス事業者の協力を頂きながら、市長の提唱するオールドニュータウンの再生になるよう地域一丸となって、引き続き取り組んでいく。今後とも宜しくお願ひしたい。なお、これまでの活動については配布しているバス便りのとおりである。</p>
会長	<p>地域が取組みを色々とされているのは非常に良いことである。これは、基本計画策定時の会議で認定された取組みであった。本来なら、これを先端事業として、他の地域にも勉強してもらおうという位置付けであった。そういう意味では、この地域公共交通会議の中で、実施計画のひとつの取組みとして位置づけられれば、より皆さんからご支援をいただける活動となる。今は市と事業者と地元での協議に留まっているので、この会議に諮っていただいたうえで検討していきたい。</p>
委員	<p>課題の所で言いそびれている事がある。もともとの資料には、私どもが川西市から要請を受けて、市立川西病院・大和団地線の運行を始めたのにも関わらず、運行に係る補助金を満額頂けていないという所を問題視して、それを解消していくために地域の方々含めて検討していくという事も謳われていた。しかし、本日の差し替えている資料にはこれらが記載されていないため、川西市の課題という所では、この問題は大きな問題だと位置づけているので、あえて発言をさせていただいた。</p> <p>もう10年近くなるかと思うが、私どもの経費に見合った補助金額が頂戴できていないという所で、事務局に問題提起をさせていただいて、色々と協議はさせていただいているが、未だに実現に至っていない。バスの運行に係る補助金を上げられないのであれば、バスの輸送量を減らし、それによって、赤字を削減するといった色々な方法もあるが、運行便数も全く変わっていない状況が長く続き、ようやく見直しについて、具体的に動き始めた所である。皆様にもご認識いただきたい。</p>
会長	<p>大和地区の問題は、川西市公共交通基本計画の策定時からずっと続いている。大和地区の検討については、策定時の部会の流れを踏まえて、この地区の公共交通をどのように維持していくかということが課題であると理解している。実施計画の中の一つとして、市立川西病院・大和団地線の再編や新しい交通モードの導入の検討をすることで位置づけすることが望ましいと考えている。しかし、実施計画がない状況なので、改めて位置付けるという共通認識が持てれば、本会議のテーマとして取り上げられると考えている。続いて事務局より資料6の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>川西市中心市街地活性化協議会で議論し作成した「中心市街地活性化基本計画」に基づき様々な取組を実施している。まず、中心市街地活性化基本計画についてだが、これまで「既存のにぎわい核を変える」「新たなにぎわい核をつくる」を目標に実施してきており、令和2年度～6年度の第3期計画では、川西能勢口駅周辺とキセラ川</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>西地区を結び回遊性を向上させることで、にぎわいが中心市街地全体に波及することを目指している。</p> <p>その課題として、にぎわい核の回遊が限定的な状況にあり、オアシスタウンの影響や川西市立総合医療センター開設を見据えた人の流れの変化への対応が必要となる。</p> <p>回遊性の向上に向けた対応として、「徒歩」「自転車」「自動車」の取り組みを検討しており、その内の「自動車」について中心市街地回遊性の向上を目指した公共交通の導入を検討している。なお、回遊性の現状だが、令和2年度のアンケート調査の結果から、キセラ川西と川西能勢口駅周辺の回遊性に課題がある状況である。</p> <p>回遊性を向上させるための実証実験を資料に示している。関係者の皆様と調整を進めさせていただき、令和4年の7月頃に実証実験を開始し、病院開院の結果や人の流れを見ながら令和4年10月に運行の判断をしていきたい。</p>
会長	<p>川西市公共交通基本計画の中で言えば、通勤などの人口が減り、高齢者の移動が減るので全体の移動も減る。その中でいうと、商業とか観光などと連携するということはどこでもやられている。それによって、単一目的ではなくて複数目的で利用することで、少しでも利用者を増やす努力をしている。</p> <p>市民の新たな移動ニーズを発掘して、人が移動できるようになると良いことだと思うし、そういう観点からこの地域公共交通会議の中で、位置付けしても良いのではと考える。何か意見はあるか。</p>
副会長	<p>キセラ川西と川西能勢口駅周辺の中心市街地を結ぶ件で、市のキセラ川西推進課でも協議会があり、交通部会に入らせていただいているが、この話は全く聞いていない。交通部会は終わるから、本案件の話をしなくても良いということなのか。</p>
委員	<p>キセラ川西推進課が事務局となる交通部会で議論していただいているサイン計画は、川西市中心市街地活性化基本計画の策定にあたり、交通部会で作成した。事業実施にあたっては、キセラ川西推進課のほうで予算化する手立てがないので、その作った計画を市民環境部産業振興課のほうで引き取っていただいて、速やかに予算を取って実現していくという構造で、もともと議論していたということがあり、本年度でサイン計画はお陰様で終結していく。その終結したものを、部局が変わるが市民環境部産業振興課にお渡しして、予算化させて位置づけていると理解している。</p>
副会長	<p>今回、ご提案いただいた内容は、会長が何度もおっしゃるように、川西市公共交通基本計画の中で、どういう位置づけなのかが良く分かっていない。</p> <p>先ほどの資料4でも、清和台地区内交通の話と、多田グリーンハイツ地区と大和地区は、幹線公共交通に接続するような地域内公共交通である路線バスがある中で、実験対象地域として、この3つの地区を比べることも良くわからない。</p> <p>今回のキセラ川西推進課の交通部会でも、議論して結論を出したはずである。キセ</p>

発言者	発言内容等
副会長	<p>ラ川西地区内に（仮称）市立総合医療センターが来たということだが、なぜかこの病院には駐車場がないという構造である。それに対して、移動の活性化を図るために、この実証実験をやることも、本当に需要があるのかと思うし、川西市公共交通基本計画での位置付けもよくわからない。</p> <p>次の議論の所で、川西市公共交通基本計画を公共交通計画に作り替えましょうという話になるが、少なくとも公共交通の取組みにあたって、最上位に従うものは、川西市公共交通基本計画であって、私も策定メンバーの一人である。資料5の大和地区の件も、本来はPDCAを地域でまわしていくということもあって、毎年検証していくと記載していたのにやっていない。</p> <p>全体的に、絆創膏のようにひとつひとつ実験をやっていきますというような羅列は、やめていただきたい。このようなやり方は、全国的にやめましょうという傾向にある中、川西市はこれをするつもりなのか。市役所の方針に対して、非常に残念な気持ちになる。</p> <p style="text-align: center;">（予定があるため副会長 退室）</p>
会 長	<p>副会長がおっしゃっていたことは、私も冒頭から言っていたことである。</p> <p>いずれにしても、今回の3つの議題について、事務局としてはかなり具体的に進められている事をご報告・ご提案いただいたが、この地域公共交通会議としては、川西市公共交通基本計画に基づいた実施計画の枠組みを作って、その中に位置付けをして、それを皆さんに検討していただいて進めることになるので、この基本計画を国の地域公共交通計画に移行させる事の是非と合わせて、実施計画を検討いただきたい。</p> <p>それと並行して課題となっている案件については後付けになるかもしれないが、実施計画と位置付けることを前提として、中身を再検討し本会議で承認いただけるかということになる。それでよければ次回に再度全体の流れと各事業の位置づけを整理し検討を進めていきたい。</p>
委 員	<p>今の交通行政の位置付けとして、どこを見ているかという、川西市公共交通基本計画にある14の取組みの方向性を策定した当初は、進捗状況を確認しようということで、スタートした。川西市公共交通基本計画では、地域が主体となった地域別の具体的な取組について実施計画を定めるという位置づけになっていた。ところが蓋を開けてみると、計画を実際に作れた地域はひとつもなく、それはどうしたものかという課題を突き付けられて2年が経つ。ちょうどその真ん中くらいにきており、その内容についてどうするかを喫緊の課題としていることが1つ。</p> <p>それと昨年11月に再生法が改正されたので、地域公共交通網形成計画に変わって、地域公共交通計画の策定が自治体としては努力義務を課せられている。川西市公共交通基本計画で、うまくいっていない部分をしっかりと見直して、地域公共交通計画に改めて作り直していきましょうということである。当然、地域の状況も高齢化率</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>も徐々に上がっていくので、都市構造としてニュータウンと周辺の既成市街地の都市構造が変わっている所が顕著になってきている所が都市計画的にもあるので、そのことも踏まえて取り組んでいきたいと思いますというのが、今の立ち位置と考える。</p> <p>冒頭から、皆さんがおっしゃっているように、以前から地域内の公共交通をどうするのかということが課題となっていた。それは、行政も十分認識しているが、例えば路線バスが市内を網の目状に走って頂くと、経費も合わないし難しいということから、今市として考えているのは、まずニュータウンでの高齢化が著しく上昇しているのので、ニュータウンに住んでいる方の移動について、本当に困っている方が、何でどのように困っておられるのかをしっかりと見ていこうということで、なんとか交通手段を提供したいというのが、市の基本的な方針である。そのために3地区のニュータウンを対象に住民アンケートを取らせていただいた。アンケートは、5つのカテゴリーで要介護認定者、障がい者、子育て、高齢者、一般のカテゴリーに分けて、各地区1,000票のアンケートを配布して、分析を始めている。</p> <p>やみくもに実験を押し付けているわけではなく、しっかりと議論を重ねながら行っている。活性化再生法の主旨も、公共交通と十分に調整を図ってやっていくのは大前提としている。川西市内の路線バスともちろん能勢電鉄も運ぶということが目的である。</p>
会長	<p>良く理解は出来たが、誤解されているのは地域公共交通会議の役割ということだと思う。市で色々と調整してやっていただくことであれば、極端な話、こういう形の地域公共交通会議は必要ないと思う。</p>
委員	<p>市がやろうとしている実験は、既存の福祉有償運送と調整をしながらやっていくが、当然有料になるし、路線バスとの競合を避けながら検討する中で、この地域公共交通会議は必須だと思っているから発言している。本日は、なかなか市の思いや川西市公共交通基本計画との関係が、十分にご理解できないという発言が多かったので、補足をさせていただいた。</p>
会長	<p>地域で実施計画を作ってくださいと書いてあるのは、地域公共交通会議を開催して、その中で議論をした上で、地域ごとに実施計画を作るように定められているということ。冒頭申し上げたが、川西市公共交通基本計画を策定して、実現に向けて実施計画を作るということで、この中で、今おっしゃった事を議論した上で、地域の方々のニーズを調べて議論した上で、全体像の中で計画をいくつかやるのかということが戦略的といわれるものである。それを今年度、短期中期それぞれの期間で、戦略的に進めていく方法などをこの会議で議論して、合意形成が図られて実施という流れになる。</p> <p>市の進め方は、市が独自に色々やってこられたということで、この地域公共交通会議には、初めて出てきた案件である。そこが、地域公共交通会議で川西市公共交通基</p>

発言者	発言内容等
会 長	<p>本計画に基づいて実施計画を作成して進めていくという事からすると、いきなりプランが降りてきたという事になるので、そもそも合意形成が取れるのかと心配になっている次第である。</p> <p>委員のおっしゃることも良くわかるし、事務局の説明も分かるが、それをこの地域公共交通会議の中で位置づけをして、皆さんの合意形成が図られれば、具体的に検討していく事になると思う。もちろん、交通事業者とは事前にやりとりされているので、既にわかっている事かもしれないが、この会議の中では、委員の皆さんからすると、初めて聞くことになると思うので、もう一度皆さんにご確認いただきたいという事である。</p> <p>事務局としては実施計画として考えて、具体の事例として提案して皆さんにお伺いを立てて、例えば実験するならどういった形でどう評価するのか、実験後どうしていくのかも含めて、ご提案をいただきたい。それが難しければ、皆さんからご意見を頂いて、それをこの会議で決めていければいいと思う。次回にそういう形で進めていきたいと思うが、事務局としてはいかがか。</p>
事務局	<p>市もスケジュールを持っているので、また改めて調整させていただく。</p>
	<p>(4) <u>(仮称)川西市地域公共交通計画策定について</u></p>
会 長	<p>最後の公共交通の計画策定について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>まずは、背景と方針について、説明させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①近年の人口減少や高齢化の進展に伴う路線バス利用者数の減少、一部路線での減便、乗務員不足の深刻化 ②平成27年3月に策定した川西市公共交通基本計画の目標年次が令和4年度であり、見直し時期が到来 ③地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正され、地域公共交通計画の策定が努力義務化 ④新型コロナウイルス感染拡大に伴い、公共交通利用者数が大幅に減少 <p>以上の4点から、持続可能な地域旅客運送サービスを確保するため、川西市公共交通基本計画の見直しを行い、基本理念を引き継ぎながら今後の地域公共交通のあり方や具体的な取組を示した（仮称）川西市地域公共交通計画として令和4年度に改定する予定としている。</p> <p>次に本計画の位置付けについてだが、現計画は総合計画と都市計画マスタープランを上位計画とし、平成27年3月に市の任意計画として策定されており、それらの上位計画の改定時期である令和4年度に併せて改定するものである。</p> <p>改定は現計画の基本理念を引き継いだ形で見直しを行い、また、活性化再生法の改正を受けて、従来の公共交通サービスに加え地域の多様な輸送資源を計画に位置付け</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>ることや、定量的な目標の設定、毎年度の評価について検討を行い、検討した結果を反映した法定計画である（仮称）川西市地域公共交通計画として、行う予定としている。</p> <p>計画改定に係る組織体制については、事務局が川西市地域公共交通会議へ（仮称）川西市地域公共交通計画の策定について諮問を行い、素案の答申をいただいた後、令和4年度に公表することとしている。開催回数は全5回を予定しており、開催方法は基本的に委員を一同に会した会議とするが、状況に応じてWEB会議や書面会議を実施する予定としている。</p> <p>スケジュールは、資料のとおりを予定している。なお、上位計画である総合計画と都市計画マスタープランについても同時期の改定となることから、素案の答申とパブリックコメント・策定結果については、上位計画改定のスケジュールと連動することとなる。</p> <p>本計画の策定につきまして、今後も本会議で協議等を行わせていただくので、よろしくお願ひしたい。</p>
会長	<p>確認だが、この公共交通計画を策定したときに、今の川西市公共交通基本計画はどうするのか。今の説明だと、川西市公共交通基本計画を公共交通計画に変えるということか。</p>
事務局	<p>会長がおっしゃったとおり、基本計画が変わって、川西地域公共交通計画が出来るということになる。</p>
会長	<p>国としては、この位置付けはどう考えておられるのか。今の川西市公共交通基本計画にかわって、川西地域公共交通計画が出来るという説明で大丈夫か。</p>
委員	<p>大丈夫である。</p>
会長	<p>言葉のあやかかもしれないが、本来、基本計画というのはベースにあるのだろうが、公共交通計画といわれると、実施計画に近いイメージを持ってしまう。例えば、これまでの地域公共交通網形成計画が、今回の公共交通計画に代わると言われたら、まさに実施計画である。そうすると、基本計画をこれに変えるとなると、基本計画としての意義が薄れてしまう。目標や理念が曖昧になる。基本計画というのは上位にあるものなので、具体的実施計画となる地域公共交通網形成計画が今回はこれに変わるというほうが分かりやすい。情報があれば教えていただきたい。</p> <p>理念は5年で変わるものではないはずで、基本理念に基づいて、具体的に実施の計を策定して、その進捗管理や目標値が設定される。5年間やってみて、達成したら次は何をするかを考えるということであって、基本計画を5年ごとに変えたら意味がない。そこの所はしっかりとっておかないといけない。そうしないと、我々は、何に基づいて何を検討していくのか曖昧になる。今の説明だと、齟齬がある。もう一度相談</p>

発言者	発言内容等
会 長	<p>していただいて、川西市公共交通基本計画と今回の公共交通計画との違いについて、説明いただけたらありがたい。</p> <p>今回改定と言われるけど、計画の目標年次が平成 34 年（2022 年）なだけで、本来は目標値を達成できたか評価しないといけませんが、実施計画がないので評価しようがない。それも踏まえた上で、次回に国と計画と本市の業務計画との位置付けを理解していただいた上で、何を改定するのか説明いただきたい。</p> <p>今日は、1 回目の地域公共交通会議なので、本来なら具体の議論をする場ではないが、かなり具体的内容が出てきてしまったので、混乱させてしまった所もあったかと思う。最後に、今後のことを含めてご意見があればお願いしたい。</p>
委 員	<p>この会議の議事録の取り扱いはどのようにお考えか。各委員に内容の照会があるのか。出来れば、議事録（案）の段階で見せて頂きたい。</p>
会 長	<p>本来、議事要旨であるべきだと思う。発言録にすると、委員の名前を伏せても、発言の内容でわかってしまう。議事要旨にするのか、議事録にするのか、冒頭会長がチェックすると言われたが、それで良いかどうか。事務局としてはどう考えておられるか。</p> <p>議事要旨であれば決定事項と主な意見だけが整理されることになる。発言録なら発言者全員のチェックが必要になる。</p>
事務局	<p>要約版でさせていただきたい。</p>
会 長	<p>要約版であれば、発言録ではないので、会長決裁だけでよろしいか。</p>
委 員	<p>出来れば、事前に見せていただきたい。</p>
事務局	<p>会長の了承が得られれば、委員の皆さんに事前に見て頂く形をとる。要綱の確認を行いご報告させていただく。</p>
委 員	<p>こういった会議に初めて参加させていただいた中で、色々な意見を聞かせていただいた。会長のおっしゃられたように、具体的な話もあり戸惑った所があるが、コミュニティ連合会で、いわゆる地域住民の代表としてお話しさせていただくなら、川西市の南北の長いところに、能勢電鉄と路線バスが走っている。これは皆さんの認識通りであるが、人の移動を手段だけというより、生活の中で買い物をするだけでも公共交通を利用しなければならぬ地域が多数ある。その中で、高齢化がニュータウンで進んでおり、他の地域でも高齢化が進む。少子高齢化の中、人口も減るだろう。どういう経緯で、オンデマンドモビリティの話が出てきたのかはわからないが、それが本当に一番望んでいることなのかと感じている。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>現在、北陵コミュニティの会長をさせていただいており、自治会でも役員を務めていたが、地域ではバスの利便性や運行路線を考えてほしいという声が圧倒的に多い。オンデマンドモビリティは場所によっては有効的な所もあるかもしれないし、導入するのもひとつの手法だとは思いますが、いわゆる地域交通の新たな柱として、住民が本当に望んでいることなのかは疑問に感じる。</p> <p>先ほど、事務局から説明が合った中で、地域公共交通実施計画の策定は地域でという説明があったが、地域がどこまで望んでいるのか。地域は声をあげることは出来るが、本当に地域が交通事業者と調整して、実施計画を作ることが出来るのかと感じる。こういう場に参画させていただくことになったので、川西市の地域公共交通について、地域の声なり、思う所を声としてあげていきたいと思う。</p>
会長	<p>少し誤解があるかもしれないが、オンデマンドモビリティをやることをここで決定しているわけではない。市はプランを持っているが、この会議では初めてだったので、本当に必要か議論していただいた上で、具体的に検討しようという流れであると思う。ありきのことを議論をしているわけではないことを理解していただきたい。</p> <p>また、地域で実施計画を作ると言っているわけではなく、この会議の中で議論をして、地域ごとに必要なプランを立てていきたいと思いますということである。必要なら住民の皆さんで部会を作って、交通の事を考える計画を作ろうということである。</p>
委員	<p>了承した。これからもよろしくお願ひしたい。</p>
	<p><u>(5) その他</u></p>
会長	<p>他に何かあるか。</p>
委員	<p>当日配布資料について説明する。バス事業者としてもコロナ対策のガイドラインを作成しているので紹介する。路線バスは約3分で、貸し切りバスは5分での空気が入れ替わるよう対策を講じているところである。</p> <p>続いて、高齢者の免許返納制度について紹介する。高齢者の交通事故が増加していることから、免許返納後、運転経歴証明書を作成して提示すると、様々な特典が得られることとなっているので紹介する。</p> <p>続いて貸し切りバス事業についてだが、全く動いておらず、バス事業の存続が危ぶまれる状況にある。そのような中であるが、淡路で開催されている「花みどりフェア」に貸し切りバスで旅行に行くと補助金が出る制度があるため、活用していただきたい。</p> <p>最後にバス協会が行っている「バス旅情報」について紹介する。淡路に行く高速代と淡路島の路線バス・コミュニティバスが乗り放題となる切符を発行しているため活用していただきたい。</p>

発言者	発言内容等
会 長	ほかになければ、事務局にお返しする。
事務局	<p data-bbox="360 309 472 342"><u>4. 閉会</u></p> <p data-bbox="360 353 1422 432">次回の第2回開催については、4月下旬頃を予定している。日程等詳細が決まり次第、皆様にご連絡を差し上げる。</p> <p data-bbox="392 450 1070 483">それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p>